

## ○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年9月定例会

### 建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、クルーズ船受入環境整備事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業の具体的な内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県管理港湾では、クルーズ船を受け入れるに当たって専用岸壁がないため、貨物を取り扱う船舶等と共同使用しており、受入環境に課題があることから、本事業で当面の対策を行うこととしている。

具体的には、区画線やピクト等の視線誘導施設の設置やバリア・フェンス等の整備により歩行者の動線を確保するほか、伸縮式屋根付き通路と移動式待合施設の整備により、下船後に観光地へ向かうまでの環境改善を図るなど、クルーズ船の受入環境向上のため施設整備を行うものである。

また、将来的には、今後のクルーズ寄港等を勘案した上で、専用岸壁の必要性を検討したい旨の答弁がありました。

第2点は、河川防災緊急対策事業についてであります。

このことについて一部の委員から、河床掘削の補正予算案が計上されているが、どのような効果を見込んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、河床掘削については、土砂の堆積状況や背後の土地利用状況等を勘案し、緊急性の高いところから取り組んでいる。

今回の補正予算案では、新居浜市の阿島川、松山市の粟井川、宇和島市の光満川など、90箇所約7万 $\text{m}^3$ の土砂等の撤去を見込んだ費用を計上し、県下全域にわたり、きめ細かくスピード感をもって対応することとしている。

豪雨の影響を受けやすい未改修河川のほか、越水した場合に決壊のおそれのある堤防区間などを中心に、効果的に河床掘削を行うことで、水位上昇の抑制効果の早期発現を見込んでいる旨の答弁がありました。

第3点は、とべ動物園の魅力向上についてであります。

このことについて一部の委員から、来園者数を増やすため、魅力向上にどう

取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、令和元年度から「とべ動物園まじめ行動計画」に基づき、戦略的に魅力向上に取り組んでおり、今年度は、10月に「とべZOOキャンプ」、11月から「とべZOOイルミネーション」等のイベントを開催することとしている。

また、来園者が快適に観覧できるようオアシスガーデン内に軽食コーナーを整備するとともに、獣舎についてもサル・ヒヒ舎の整備に着手するなど、ソフト・ハード両面から魅力向上に向けた取り組みを行っている。

また、今年度から「とべもり+ (プラス)」として、えひめ森林公園を加えた4施設で連携した事業を展開しており、周遊を促進することで更なる誘客拡大につなげていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 建設工事におけるICT活用の取り組み
- ・ 緊急輸送道路の整備及び道路の防災対策
- ・ 通学路の交通安全対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。